

取扱説明書(WEB)

加湿空気清浄機

型番:KAP-AH501 [室内・家庭用]



このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- ・ 一般家庭用以外でご使用にならないでください。
無償保証の対象外になる事があります。
- ・ この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ・ ご使用前に「[安全上の注意 P7](#)」を必ずお読みください。
- ・ WEB マニュアルの使いかたは、「[WEB マニュアルについて P2](#)」をご確認ください。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

WEB マニュアルの使いかた

ここでは「WEB マニュアル」の使いかたを案内します。

当サイトは下記のブラウザでの使用を推奨しています。

- ・Microsoft Edge ブラウザ(最新版)
- ・Google Chrome ブラウザ(最新版)

—WEB マニュアルについて

■スマートフォン



■パソコン



① メニュー一覧/検索 切替ボタン(スマートフォンのみ)

☰ をタップするとメニュー一覧/検索画面が表示されます。

✕ を押すと元の画面に戻ります。

② 製品名、型番

お問い合わせ時には、製品名と型番をご連絡お願いいたします。

③ ページ内リンク

選択すると、ページ内の該当情報が表示されます。

④ 関連ページリンク

選択すると、WEB サイトや WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

⑤ メニュー

選択すると、メニュー一覧が表示されます。検索タブと切り替えて使用します。

⑥ メニューリスト

メニュー一覧を表示させます。

⑦ 検索タブ

選択すると、目的の情報を検索できるようになります。メニュータブと切り替えて使用します。

一 検索について

■スマートフォン



■パソコン



⑧ フリーワード検索

キーワードを入力することで、目的の情報を検索することができます。

⑨ 検索リスト

検索した結果が表示されます。選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

- ・ デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。
- ・ Microsoft Edge は Microsoft Corporation の商標です。
- ・ Google Chrome は Google LLC の商標です。

もくじ

ご使用の前に	7
安全上の注意	7
使用上の注意	13
設置の注意	15
各部のなまえ(本体)	16
各部のなまえ(操作パネル)	18
準備する	20
集じん・脱臭フィルターを取り付ける	20
水を入れる	23
電源を接続する	26
使いかた	27
基本的な使いかた	27
風量を切り替える	28
加湿運転する	29
自動モードを設定する	30
花粉モード	31
切タイマーを設定する	32
ランプの明るさを調整する	33
チャイルドロック	34
ほこりセンサー／においセンサー	35

給水ランプが点滅したときは.....	36
フィルター掃除ランプが点灯したときは.....	37
お手入れ.....	38
お手入れの注意.....	38
毎日のお手入れ.....	39
月に1回のお手入れ.....	41
排水トレーに水がたまったとき.....	44
加湿フィルター交換の目安.....	45
こんなときは.....	47
故障かな？と思ったら.....	47
別売品を購入したい.....	51
保管のしかた.....	52
廃棄について.....	52
その他の情報.....	53
仕様.....	53
保証とアフターサービス.....	54
保証規定.....	55
お問い合わせ.....	56

ご使用の前に

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

→ [警告 P7](#)

→ [注意 P10](#)

図記号の意味

 注意を促す記号です。	 禁止を示す記号です。	 必ず行うことを示す記号です。
---	--	---



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

— 電源プラグ・電源コードは正しく使う

	・ 電源プラグのほこりは定期的に取り ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。 ・ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む ショートによる火災・感電の原因になります。
	・ ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない 感電・やけど・けがの原因になります。
	・ 電源コードを束ねて通電しない 過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。 ・ 交流 100V 以外では使わない 火災・感電の原因になります。 ・ 移動時に電源コードを引っ張らない 火災の原因になります。 ・ 電源コードを傷付けない ・ 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない 傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 ・ 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない ショートによる火災・感電の原因になります。 電源コードが破損したときは、使用を中止しアイリスコール P56(☎電話をかける)へお問い合わせください。

	・コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない 火災の原因になります。
 プラグを抜く	・お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く 感電・けがの原因になります。

	・スプレーをかけない(殺虫剤、整髪料、潤滑油など) ・引火性のもの(灯油・ガソリン・シンナーなど)、可燃性のもののそばで使わない ・油煙の舞う場所や近くで使用しない 火災の原因になります。
---	--

ー 異常時には

 プラグを抜く	・異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く 発煙・火災・感電のおそれがあります。 〔異常の例〕 ・異常な音やにおいがする ・電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる ・電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする ・触れるとビリビリ電気をを感じる ➡使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコール P56 ( 電話をかける)へお問い合わせください。
---	---

 水ぬれ禁止	・水まわり、風呂場など湿気の多い場所では絶対に使用しない ・水につけたり、水をかけたりしない 火災・感電の原因になります。
	・屋外で使用しない 故障してショートや火災の原因になります。
 分解禁止	・分解・修理・改造しない 火災・感電・けがの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。 修理については、お買い上げの販売店またはアイリスコール P56 ( 電話をかける)にご相談ください。
	・吹き出し口や吸気口に指や金属などの異物を入れない 感電やけがの原因になります



誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。

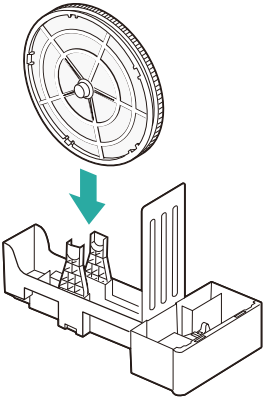
—水タンクの水について

	・ 毎日新しいものに取り替える 水タンクは毎日水洗いし、常に清潔にしてください。古い水を使用すると、異臭を発したり、健康を害する原因になります。 ・ 1週間以上使用しない場合は、必ず水タンク及び本体内の水を捨てる 水が入ったまま放置すると、異臭や周囲の空気の汚れの原因になります。 ・ 凍結しそうなときは、水タンク及び本体内の水を捨てる 凍結すると、故障・水もれにより、周囲の汚損の原因になります。
	・ 水道水以外は使用しない 40℃以上のお湯・化学薬品・芳香剤(アロマオイルなど)・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などは使用しないでください。 かびや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形・ひび割れ・変色などを起こして、水もれや周囲の汚損の原因になります。

	・ 煙や霧が出るくん煙タイプの殺虫剤を使うときは運転しない 空気清浄機内部に薬剤成分が蓄積し、その後の運転で放出されて、健康を害するおそれがあります。 殺虫剤の使用後は、十分換気してから運転してください。
	・ 燃焼器具と一緒に使う場合は換気する 一酸化炭素中毒の原因になります。 ※ 本製品は、一酸化炭素などの有害物質を除去するものではありません。
	・ 吸気口・吹き出し口をふさがない 過熱による変形・故障・火災の原因になります。
 火気禁止	・ 火気・暖房器具などに近づけない ・ 可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを近づけない 火災の原因になります。
	・ 上に乗ったり、腰かけたり、寄りかかったりしない ・ 子供など不慣れな方だけで使わない

- ・ 乳幼児に触れさせない
転倒によるけがや製品の故障、火災の原因になります。

一運転するときは

	・ 必ず、トレーに加湿フィルターをセットする 水タンクに水を入れても加湿しません。 
	・ 水タンクに水が入ったまま移動しない 水タンク・加湿器内部に水が入った状態で移動すると、斜めになったときに水がもれて周囲の水ぬれの原因になります。 移動するときは、水タンク・加湿器内部の水を捨ててください。 ・ 転倒させない 水もれや火災の原因になります。転倒して水がもれたときは、十分に乾燥させ、安全を確かめた上で使用してください。 万一電源が入らない場合は、アイリスコール P56 (☎電話をかける) にご連絡ください。

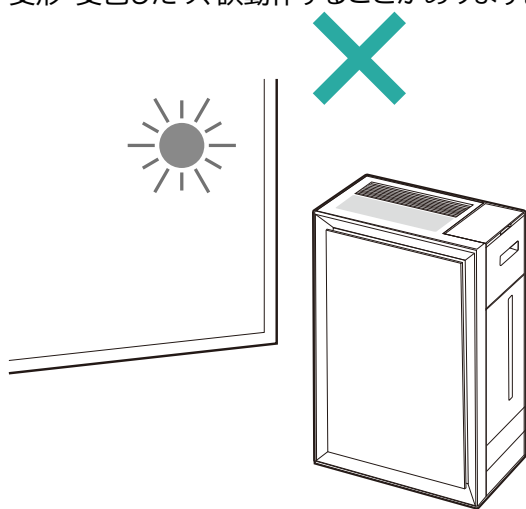
一移動するときは

	・ 本体側面の取っ手を持ってはこぶか、キャスターで移動させる 前パネルを持つと、外れてはずみで転倒するおそれがあります。 また、水が入っているときは移動しないでください。 ・ 製品の上に物を載せない キャスターが破損する原因になります。
	・ 水タンクや加湿器の部品を正しく取り付ける 水もれや周囲の水ぬれの原因になります。 ・ 空気清浄機のフィルターは正しく取り付け、前パネルは確実に取り付ける 前パネルやフィルターが外れて、落下によるけが・家財の破損の原因になります。
 プラグを抜く	・ 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

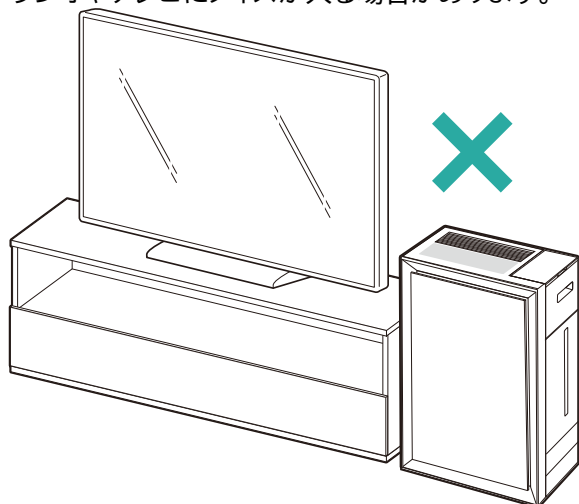
	・ 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く 絶縁低下により、火災・感電の原因になります。
	・ 化学薬品、芳香剤、アロマオイルなどを水タンクやトレイに入れない 水タンク、トレイが破損して家財などをぬらす原因になります。 ・ 本体を倒さない 水がこぼれて感電や火災の原因になります。 ・ 運転中にトレイを取り出さない 家財などをぬらす原因になります。 トレイは運転を停止して、約 1 分以上経ってから取り出してください。

使用上の注意

- ・ フィルターを外したまま運転しないでください。
清浄効果が出ません。また、故障の原因になります。
- ・ 破れたり、破損したフィルターは使わないでください。
故障・性能低下の原因になります。
- ・ フィルターは専用のものを正しく取り付けてください。
- ・ 換気扇のかわりに使わないでください。
- ・ 食用油など油成分の浮遊している場所で使わないでください。
フィルター寿命が低下したり、故障の原因になります。
- ・ 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで使用しないでください。
変形・変色したり、誤動作することがあります。



- ・ ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。



- ・ スピーカーや IH 調理器(電磁調理器)など、磁気の出る機器の近くで使用しないでください。
正常に動作しないことがあります。

使用環境について

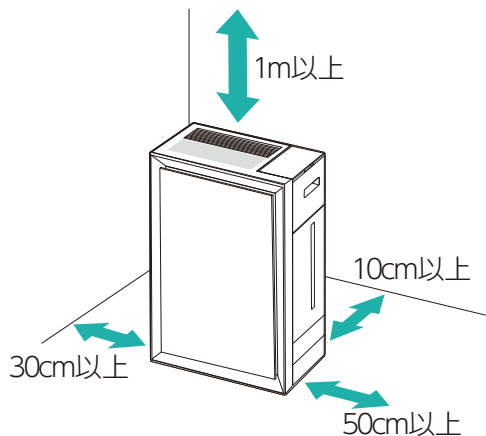
- ・ 室温は 5 ～ 35℃で使用してください。
室温が低いと床ぬれや結露がおこりやすくなります。加湿モードを切り替えたり、室温を上げたりして使用してください。
また、窓際や冷気の影響を受けやすい壁などは、定期的に結露を拭き取るなどして使用してください。
- ・ 空気清浄機の周囲の壁などが汚れることがあります。
同じ場所で長時間使用する場合は、汚れが気になりだす前に周囲の壁などを掃除してください。
- ・ 観葉植物などに空気清浄機の風が直接当たらないようにしてください。
植物がしおれることがあります。

廃棄について

- ・ 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。
-

設置の注意

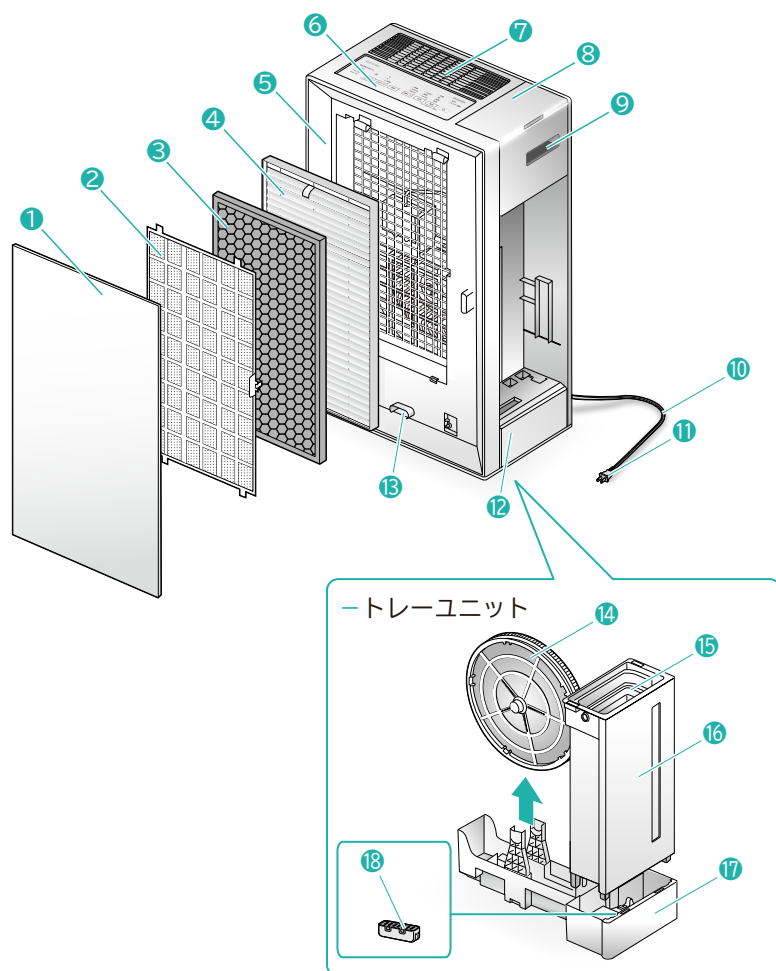
- 空気清浄機の風や加湿器の加湿された空気が、壁や家具、カーテン、電気製品などに直接当たらないところに設置する
- 設置の際は、壁・家具・カーテンなどから図に示す距離を空ける
家具や壁、カーテンなどの汚損の原因になります。
また、電気製品に結露したり水のミネラル分が付着したりすると、電気製品の故障の原因になります。
空気清浄機の吹き出し口や加湿器の蒸気口は、家具や壁、カーテン、電気製品などの方向へ向けないでください。



- 水平で安定した床の上で使用する
毛足の長いカーペットやふとんの上などに設置すると、転倒して火災の原因になります。
また、台の上に設置すると、落下してけがや火災の原因になります。
- 暖房器具・ホットカーペット・テレビなど電気製品の上や近くに置かない
プラスチック部分が変形・変質したり、転倒して水がこぼれると、故障や火災の原因になります。

各部のなまえ(本体)

— 本体



本体

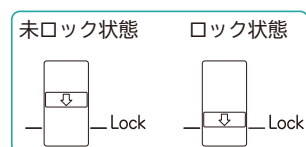
- ① 前パネル
- ② プレフィルター
- ③ 脱臭フィルター
- ④ 集じんフィルター(HEPA フィルター)
- ⑤ 本体
- ⑥ 操作パネル
- ⑦ 吹き出し口
- ⑧ 給水口カバー
- ⑨ 取っ手(左右)
- ⑩ 電源コード
- ⑪ 電源プラグ

- ⑫ 排水トレイ
- ⑬ センサーランプ

トレイユニット

- ⑭ 加湿フィルター
- ⑮ タンクハンドル
- ⑯ 水タンク
- ⑰ トレー
- ⑱ 銀ビーズユニット

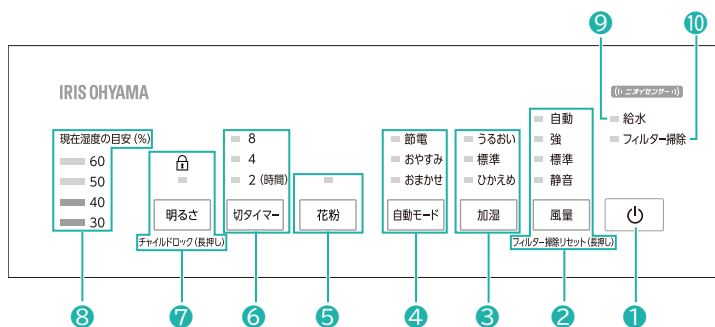
※底面にキャスターが4か所あります。また、本体の裏側から2か所ロックが可能です。



関連ページ

- [各部のなまえ\(操作パネル\) P18](#)

各部のなまえ(操作パネル)



① 運転 切/入ボタン

ボタンを押すと、運転を開始します。再度ボタンを押すと、運転を停止します。(→[基本的な使いかた P27](#))

② 風量ボタン・ランプ

押すたびに風量が静音・標準・強・自動に切り替わります。(→[風量を切り替える P28](#))

(フィルター掃除リセット)

フィルターのお手入れを済ませた後に、ボタンを長押ししてフィルター掃除ランプを消灯させます。(→[フィルター掃除ランプが点灯したときは P37](#))

③ 加湿ボタン・ランプ

押すたびに加湿モードがひかえめ・標準・うるおい・停止(ランプ消灯)に切り替わります。(→[加湿運転する P29](#))

④ 自動モードボタン・ランプ

押すたびに自動モードがおまかせ・おやすみ・節電に切り替わります。(→[自動モードを設定する P30](#))

⑤ 花粉ボタン・ランプ

押すと 5 分間強運転し、そのあと標準運転と静音運転を繰り返し 60 分間運転します。(→[花粉モード P31](#))

その後は同じ動作を繰り返します。

⑥ 切タイマーボタン・ランプ

押すたびに設定時間が 2 時間・4 時間・8 時間・停止(ランプ消灯)に切り替わります。(→[切タイマーを設定する P32](#))

⑦ 明るさ調整ボタン・ランプ

押すたびに操作パネルとセンサーランプの明るさが 3 段階で切り替わります。(→[ランプの明るさを調節する P33](#))

(チャイルドロック)

長押しすると、ランプが点灯し、電源ボタンを除くすべてのボタンの操作を無効にします。

再度ボタンを長押しするか、電源プラグの抜き差しで、解除します。(→[チャイルドロック P34](#))

⑧ 湿度サイン

室内の現在湿度の目安を確認できます。

室内の湿度計の表示とは異なる場合があります。

⑨ 給水ランプ

水タンク内の水が無くなると点滅します。(→[給水ランプが点滅したときは P36](#))

⑩ フィルター掃除ランプ

プレフィルターのお手入れ時期になると赤色に点灯してお知らせします。(→[フィルター掃除ランプが点灯したときは P37](#))

関連ページ

- [各部のなまえ\(本体\) P16](#)

準備する

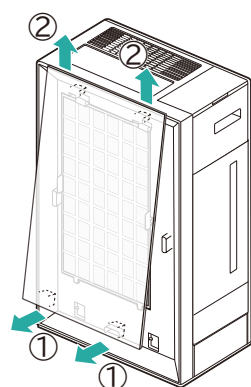
集じん・脱臭フィルターを取り付ける

お願い

- ・ 電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずフィルターの取り付けを行ってください。

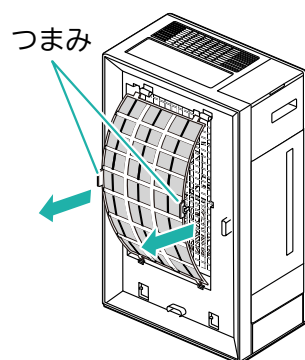
前パネルを外す

- ①前パネル下側を手前に引いて外す
- ②前パネルを上方に持ち上げる



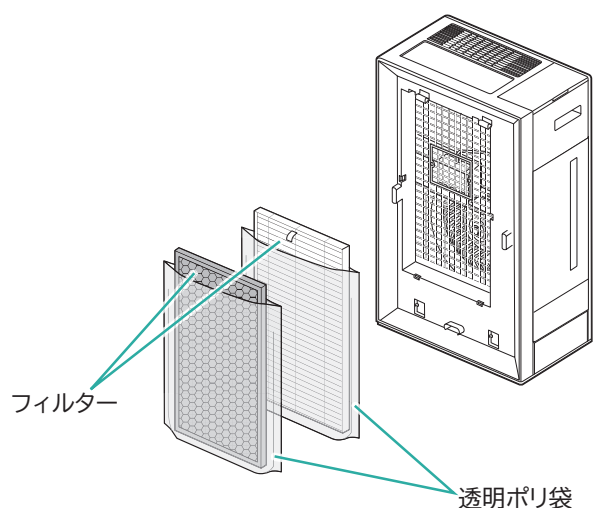
プレフィルターを外す

- ・ 左右のつまみを持ち、上側を下に引くか、下側を上引いて外します。



集じんフィルターと脱臭フィルターを透明ポリ袋から取り出す

3

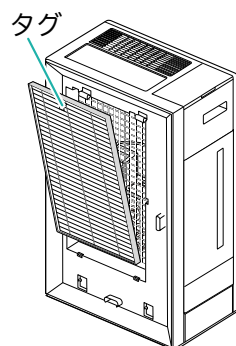


お願い

- ・ 品質保持のため、集じん・脱臭フィルターは透明ポリ袋に入っています。使用開始前に必ず取り出してください。
- ・ 脱臭フィルターの黒いメッシュシートのカバーは破かないでください。

集じんフィルターを取り付ける

4



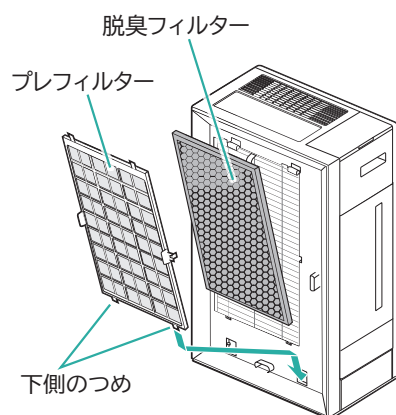
お願い

- ・ 集じんフィルターのスポンジ枠材は剥がさず、タグを手前にして取り付けてください。集じん性能が発揮できなくなります。

脱臭フィルターとプレフィルターの下側を取り付ける

5

- ・ プレフィルターの下側のつめを差し込み、プレフィルターと集じんフィルターの上に脱臭フィルターをはさみ込みます。

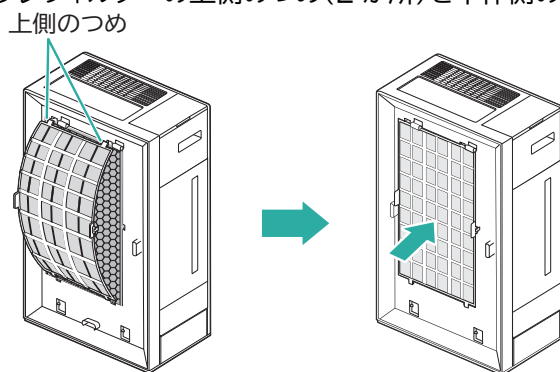


※ 脱臭フィルターは、裏表の区別はありません。

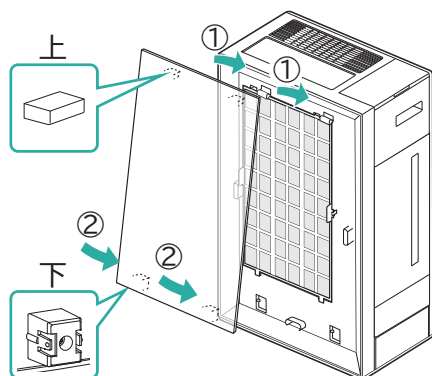
※ プレフィルターは、上下の区別はありません。

プレフィルターの上側と前パネルを取り付ける

- プレフィルターの上側のつまめ(2 か所)を本体側の穴に差し込みます。



- 前パネルは上方のつまめを本体上方に引っかけ(①)、下方のつまめがパチンとはまるように押し込みます(②)

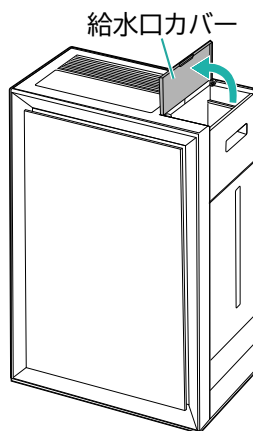


関連ページ

- [基本的な使いかた P27](#)

水を入れる

給水口カバーを開ける

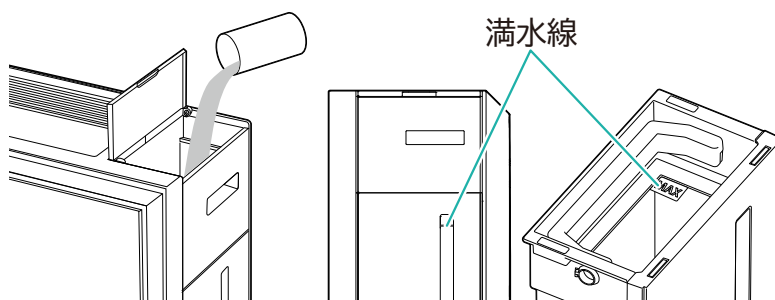


お願い

- ・ 電源プラグは水を入れ終わるまで接続しないでください。
- ・ 給水口カバーを 90°以上開けると壊れる恐れがあります。

水タンクにコップや水差しなどで水を入れる

- ・ 水がこぼれないようにゆっくり入れてください。
- ・ 本体から水タンクを取り出し、給水することもできます。(→[本体から水タンクを取り出して給水するとき P24](#))
- ・ 満水線(MAX 位置)より多く水を入れないでください。水がもれることがあります。

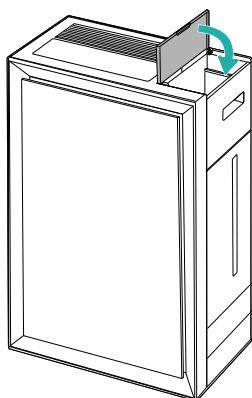


お願い

- ・ 水は必ず水道水を使用し、汚れた水やお湯・ミネラルウォーター・井戸水などは入れないでください。
- ・ 水に薬品・香料・精油・洗剤などを入れないでください。健康を害したりするおそれがあります。

給水口カバーをしっかりと閉める

3

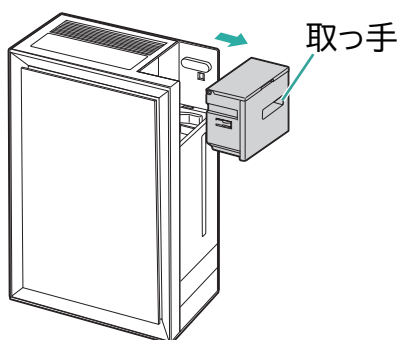


— 本体から水タンクを取り出して給水するとき

本体の給水口カバーを取り外す

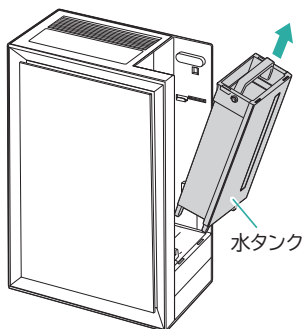
- 取っ手を持って手前に引き、取り外します。

1



水タンクを本体から取り出し、持ち運ぶ

2

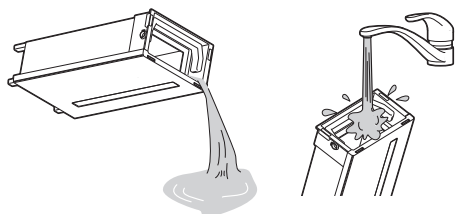


注意

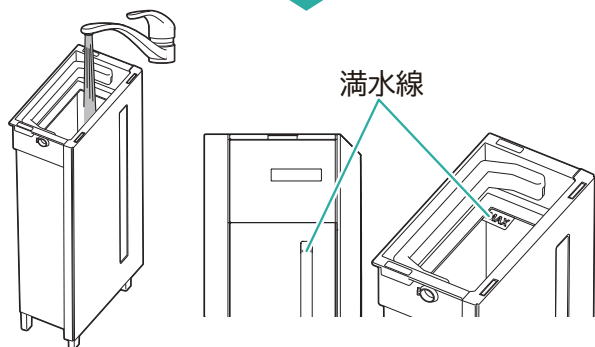
- 水タンクを運ぶときは、必ずハンドルを持ってください。
水がこぼれて家財などをぬらす原因になります。

水タンクの古い水を捨て、流水で洗い、水を入れる

- ・ 満水線より多く水を入れないでください。水があふれることがあります。

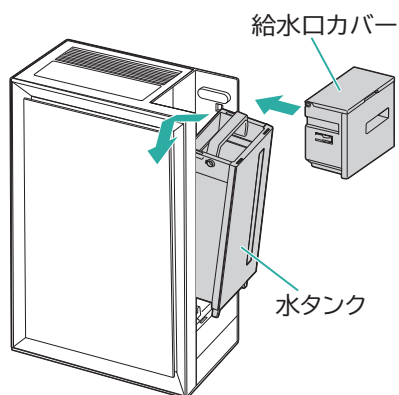


3



水タンクを本体に戻して、手順 1 で取り外した給水口カバーを取り付ける

- ・ 水タンクは水がこぼれないようにゆっくり戻してください。



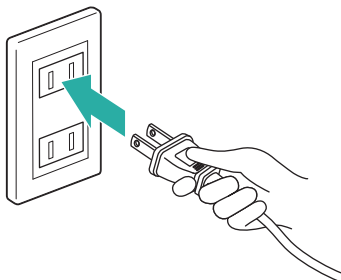
4

関連ページ

- ・ [基本的な使いかた P27](#)

電源を接続する

電源プラグをコンセントに差し込む



お願い

- ・ 差し込む前に、電源プラグや手に付いた水はふいてください。

使いかた

基本的な使いかた

1



を押す

- ・ 運転を開始します。

2

- ・ 手で運転をする場合は、 および  を押し、運転モードを選ぶ
- ・ 自動で運転をする場合は、 を押し、運転モードを選ぶ
- ・ 花粉モードで運転する場合は、 を押す

運転を止めるときは、再度  を押してください。

関連ページ

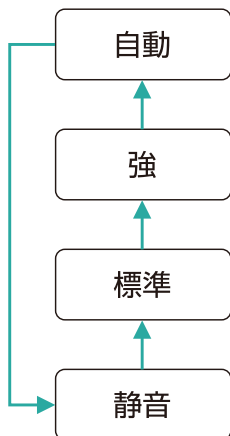
- ・ [風量を切り替える P28](#)
- ・ [加湿運転する P29](#)
- ・ [自動モードを設定する P30](#)
- ・ [花粉モード P31](#)
- ・ [切タイマーを設定する P32](#)
- ・ [ランプの明るさを調整する P33](#)
- ・ [チャイルドロック P34](#)
- ・ [ほこりセンサー／においセンサー P35](#)
- ・ [給水ランプが点滅したときは P36](#)
- ・ [フィルター掃除ランプが点灯したときは P37](#)

風量を切り替える

風量を変更します。

風量

フィルター掃除リセット(長押し) を押すたびに、風量が切り替わります。(ランプが青に点灯)



自動:自動で部屋の状態に適した風量に調整します。

強:風量「強」で、運転を行います。

標準:風量「中」で、運転を行います。

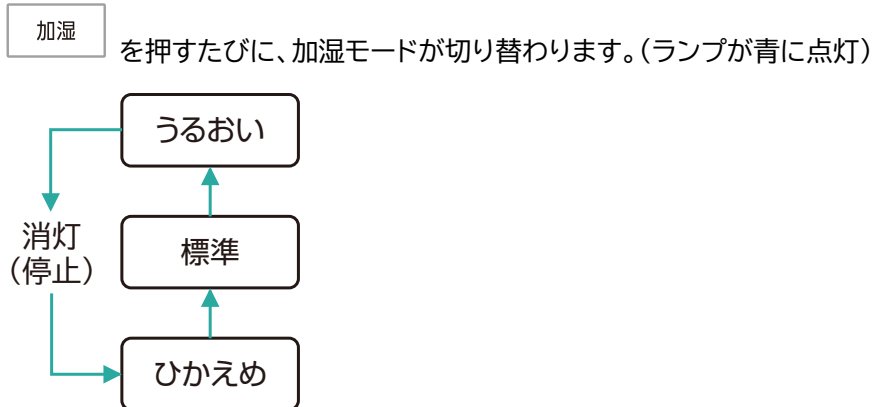
静音:風量「弱」で、運転音を抑えて、運転を行います。

関連ページ

- [基本的な使いかた P27](#)

加湿運転する

適した湿度になるように加湿を行います。



うるおい: 常時加湿運転します。

標準: 目標湿度を約 60% に設定して、加湿運転します。

ひかえめ: 目標湿度を約 50% に設定して、加湿運転します。

消灯(停止): 加湿運転を停止しランプが消灯します。

- ・ 給水ランプが点滅しているときは、ボタンを押しても加湿しません。
(加湿ランプは点灯したままですが、加湿運転は行ないません。)
- ・ 給水ランプが点滅しているときは、水を給水(→[水を入れる P23](#))し、給水ランプが消灯後、加湿運転を再開します。

関連ページ

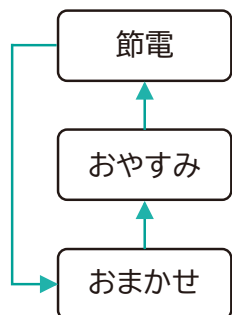
- ・ [基本的な使いかた P27](#)

自動モードを設定する

風量と加湿運転を自動で設定し、運転を行います。

自動モード

を押すたびに、運転モードが切り替わります。(ランプが青に点灯)



節電:風量を静音、加湿をひかえめモードで運転します。

おやすみ:風量を静音、加湿を標準モードで運転します。ランプは減光します。

おまかせ:風量を自動、加湿を標準モードで運転します。

関連ページ

- [基本的な使いかた P27](#)

花粉モード

花粉

を押すと 5 分間強運転し、そのあと標準運転と静音運転を繰り返し 60 分間運転します。

その後は同じ動作を繰り返します。

関連ページ

- ・ [基本的な使いかた P27](#)

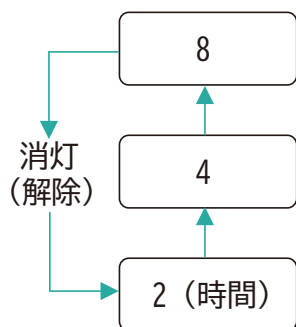
切タイマーを設定する

運転を停止するまでの時間を設定します。

切タイマー

を押すたびに、設定時間が切り替わります。(ランプが青に点灯)

残り時間に応じて表示が切り替わります。



8: 8 時間経つと、運転を停止します。

4: 4 時間経つと、運転を停止します。

2(時間): 2 時間経つと、運転を停止します。

消灯(解除): 運転を停止します。

お願い

- ・ 設定前に、水タンクの水量を確認してください。水量が少ないと、設定時間前に加湿運転が停止することがあります。

関連ページ

- ・ [基本的な使いかた P27](#)

ランプの明るさを調整する

操作パネルとセンサーランプの明るさを調整します。

明るさ

チャイルドロック(長押し) を押すたびに、明るさが 3 段階で切り替わります。

関連ページ

- [基本的な使いかた P27](#)

チャイルドロック

明るさ

チャイルドロック (長押し) を長押し (約3秒) すると、ランプが点灯し、電源ボタンを除くすべてのボタンの操作を無効にします。

再度ボタンを長押しするか、電源プラグの抜き差しで解除します。

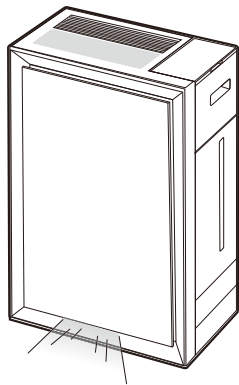
関連ページ

- ・ [基本的な使いかた P27](#)

ほこりセンサー／においセンサー

センサーで計測した空気の汚れ具合をランプの色で表示します。

ランプの色	空気の汚れ具合
青	きれい
赤	汚れている



センサーが感知するもの

におい	タバコや線香のにおい・化粧品・アルコール・スプレー類などのにおい
ほこり	PM2.5、ハウスダスト(ほこり・ダニの死がいやふん・カビの孢子・花粉)、煙(タバコ・線香など)

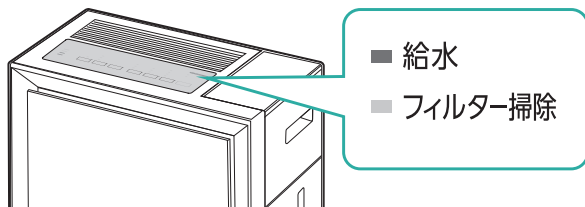
関連ページ

- ・ [基本的な使いかた P27](#)

給水ランプが点滅したときは

使用中に水タンク内の水が無くなると、給水ランプが点滅します。給水してください。(→[水を入れる P23](#))

※トレイに水が充満すると、給水ランプが消灯し、加湿運転が再開されます。



関連ページ

- ・ [基本的な使いかた P27](#)

フィルター掃除ランプが点灯したときは

お手入れ時期になると、フィルター掃除ランプが赤色で点灯します。

■ 給水
■ フィルター掃除

以下の手順でお手入れをしてください。

1 電源プラグを抜く

2 プレフィルターを外し、お手入れをする(→[月に 1 回のお手入れ P41](#))

3 トレーを取り出し、加湿フィルターを外しお手入れをする(→[毎日のお手入れ P39](#)、[月に 1 回のお手入れ P41](#))

4 プレフィルター、加湿フィルターを本体に取り付ける(→[集じん・脱臭フィルターを取り付ける P20](#)、[月に 1 回のお手入れ P41](#))

5 電源プラグを差し込み、風量 フィルター掃除リセット(長押し) を約 3 秒押して、フィルター掃除ランプを消灯させる(フィルター掃除リセット)

お願い

風量

- ・ フィルター掃除の点灯時期よりも早くお手入れした場合も、フィルター掃除リセット(長押し) を約 3 秒押してください。
- ・ お手入れしないで使い続けると、加湿量が低下したり、においやフィルター縮みの原因になります。こまめにお手入れを行ってください。

関連ページ

- ・ [基本的な使いかた P27](#)

お手入れ

お手入れの注意



- ・ お手入れするときは、電源を切り、電源コードを抜いてから行ってください。
- ・ シンナー、ベンジン、酸性・アルカリ性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

フィルターのお手入れ後は電源プラグをコンセントに差し込み、 を押して電源を入れた後、 フィルター掃除リセット(長押し) を約 3 秒 押してお手入れリセットをしてください。

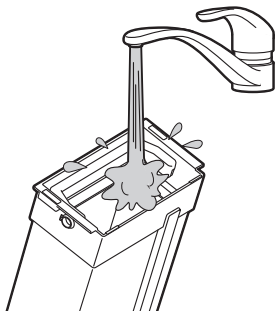
- ・ 集じんフィルター・脱臭フィルターはお手入れできません。
掃除機で吸ったり、水洗いしないでください。強く押したり、まるめたりしないでください。破損するおそれがあります。

毎日のお手入れ

—水タンク

水洗いする

- ・ 汚れが落ちにくい場合は、薄めた台所用中性洗剤を使用してください。洗った後は、洗剤が残らないように、しっかりすすいでください。
- ・ 水タンクの取り外しかたは[本体から水タンクを取り出して給水するとき P24](#) をご覧ください。



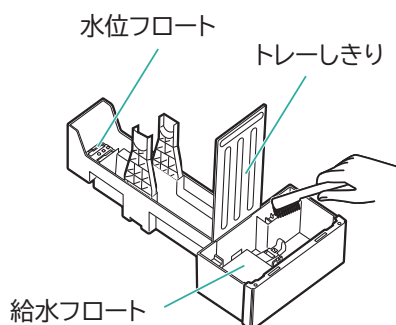
—トレー

水洗いする

- ・ 水タンク・加湿フィルターセットは取り外してお手入れしてください。(→[水タンク P39](#)、[月に1回のお手入れ P41](#))
- ・ フロートまわりは、細めのめん棒などで汚れを落としてください。

※ トレーしきり、給水・水位フロートは、外さないでください。

※ 水位フロートまわりに汚れがたまると、給水ランプが誤作動するおそれがあります。

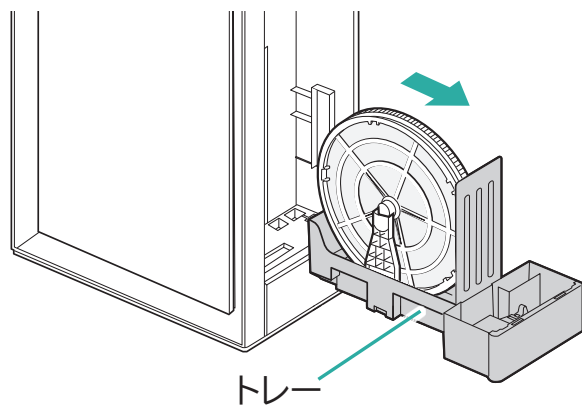


●トレーの取り外しかた

- 1 給水口カバーと水タンクを取り外す(→[本体から水タンクを取り出して給水するとき P24](#))

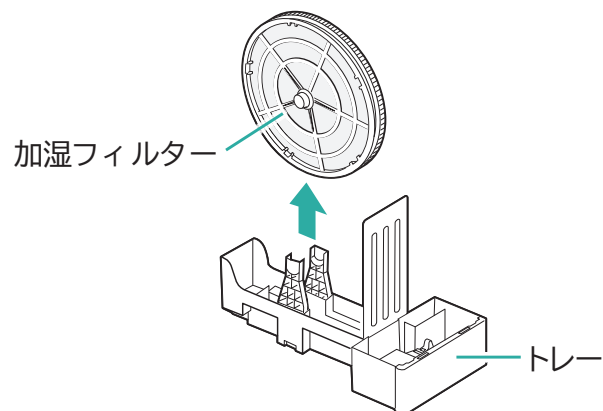
トレーを引き出す

2



加湿フィルターをトレーから取り外す

3



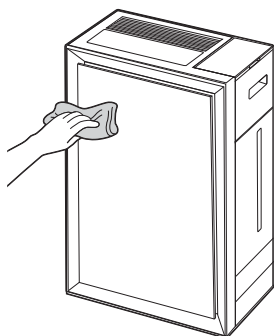
- お手入れ後は、逆の手順で取り付けてください。

月に1回のお手入れ

—本体・前パネル

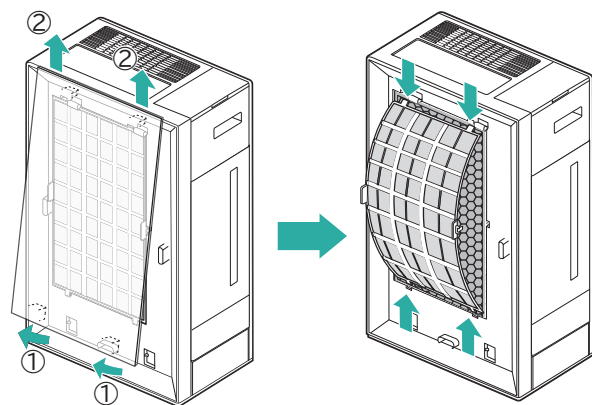
よく絞った柔らかい布でふく

- ・ 前パネルの取り付けかた、取り外しかたは[集じん・脱臭フィルターを取り付ける P20](#) をご覧ください。

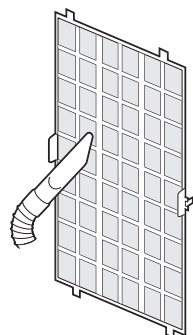


—プレフィルター

前パネルを取り外し、プレフィルターを取り外す



掃除機などで汚れを取る



- ・ 取り付けかた、取り外しかたの詳細は[集じん・脱臭フィルターを取り付ける P20](#) をご覧ください。

お願い

- ・プレフィルターを外したまま運転しないでください。吸ったほこりが本体内部に入り、故障する原因になります。
- ・破損した場合は、交換してください。

—加湿フィルター

水洗いする

- ・ 分解しないで洗ってください。
- ・ 汚れが落ちにくい場合は、クエン酸を使用してつけ置き洗いしてください。

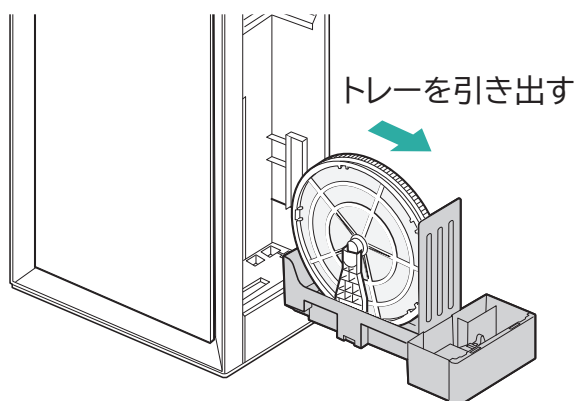
※水 3L にクエン酸を大さじ 2 杯(約 18g)

● 加湿フィルターの取り外しかた

本体から水タンクを取り外し、トレイを引き出す

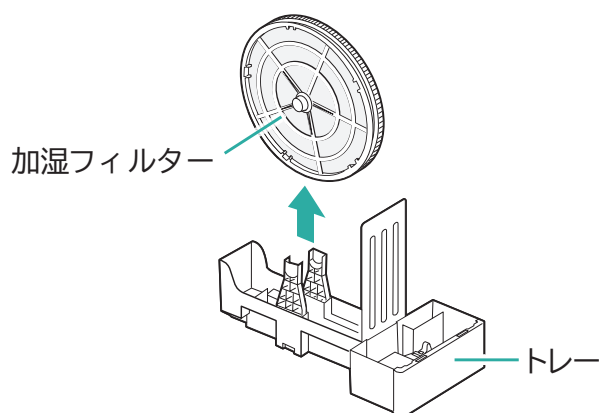
- ・ 水タンクの取り外しかたは[本体から水タンクを取り出して給水するとき P24](#) をご覧ください。

1



加湿フィルターをトレイから取り外す

2



- ・ お手入れ後は、逆の手順で取り付けてください。

お願い

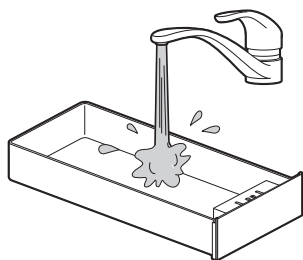
- ・ 外すときや取り付けるとき、持ち運ぶときは加湿フィルターから 水がこぼれないようにしてください。

- ・ 運転するときは、必ず加湿フィルターを取り付けてください。
- ・ 加湿フィルターは、溝があるほうが後ろになるように前後を正しく取り付けてください。
- ・ 加湿フィルターの交換時期の目安は、約 2 年に 1 回です。
- ・ 集じんフィルター・脱臭フィルターはお手入れできません。
掃除機で吸ったり、水洗いしないでください。強く押したり、まるめたりしないでください。破損するおそれがあります。

排水トレーに水がたまったとき

水洗いする

- ・ 汚れが落ちにくい場合は、薄めた台所用中性洗剤を使用してください。洗った後は、洗剤が残らないように、しっかりすすいでください。

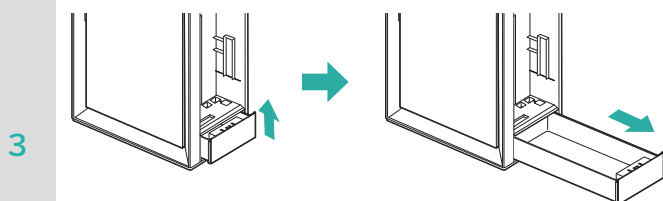


● 排水トレーの取り外しかた

1 給水口カバーと水タンクを本体から取り外す(→[本体から水タンクを取り出して給水するとき P24](#))

2 トレーを引き出す

排水トレーを少し持ち上げて、本体から引き出す



- ・ お手入れ後は、排水トレーをしっかりと押し込んで本体に取り付けてください。
- ・ 排水トレーに水がたまっている場合は、水を捨ててください。

加湿フィルター交換の目安

加湿フィルター交換時期の目安は、約 2 年に 1 回です。(1 日 8 時間運転で定期的なお手入れをした場合)

- ・ [「別売品を購入したい」P51](#) をご覧ください。

※ 交換の目安は、加湿量が約半分に落ちるまでの期間です。ただし、水質やご使用状況により交換時期が変わるため、次の場合は交換してください。

- ・ お手入れしても、においが取れない
- ・ 水タンクの水が減らない
- ・ 傷みがひどい
- ・ 縮みがひどい

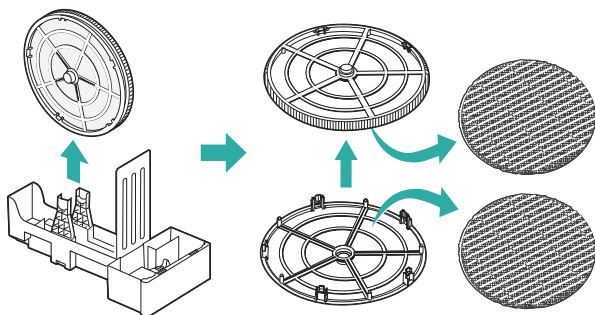
※ 加湿フィルターは不燃物として処分してください。

※ フィルター枠は捨てないでください。

— 加湿フィルターの交換方法

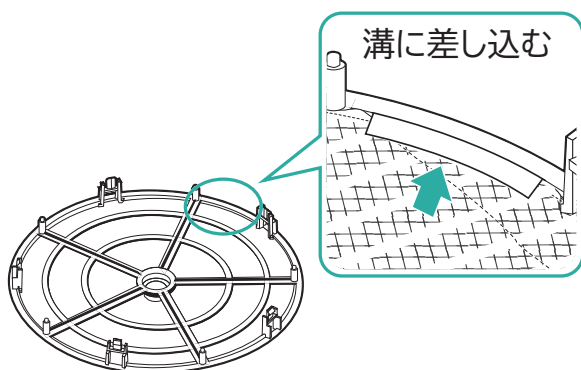
加湿フィルターをトレーから取り外して、フィルターケースから加湿フィルターを取り出す

1



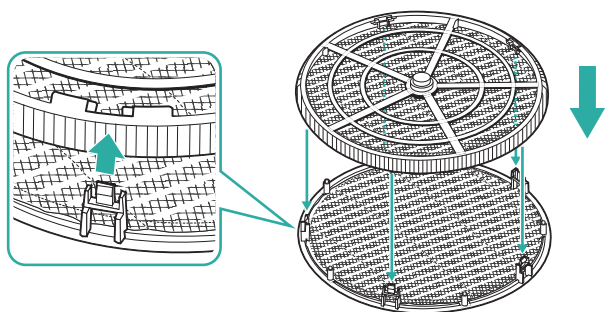
それぞれのフィルターケースの溝に、新しい加湿フィルターを差し込んで取り付ける

2



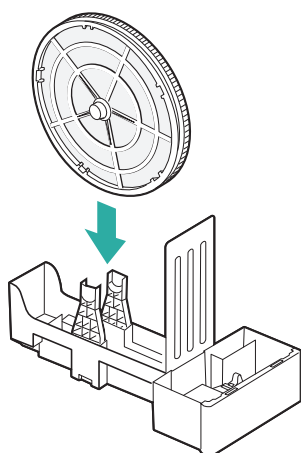
フィルターケースを 5 か所のつめで組み合わせる

3



加湿フィルターを前後を確認してトレーに取り付ける

4



こんなときは 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、以下の項目を確認してください。

－加湿フィルターが変色する

→水質などにより変色することがあります

性能上の問題はありません。

－加湿フィルターがぬれていない

→加湿フィルターの表面がぬれていない場合がありますが、フィルターの内側がぬれて加湿します故障ではありません。

→加湿フィルターが乾いていて、水タンクの水が減っていない場合は、以下の原因が考えられます

- ・加湿フィルターとトレーが本体に確実に取り付けられていますか？
正しく取り付けてください。(→[月に1回のお手入れ P41](#)、[毎日のお手入れ P39](#))
- ・トレーが汚れていませんか？
トレーをお手入れして、汚れを落としてください。(→[毎日のお手入れ P39](#))

－水が漏れる

→加湿フィルターが縮んでいませんか？

加湿フィルターが縮んだ場合は、フィルターケースに入れる際、加湿フィルターを伸ばしてから、すき間ができないように入れてください。(→[加湿フィルター交換の目安 P45](#))

→加湿フィルターは、確実に取り付けられていますか？

正しく取り付けてください。(→[月に1回のお手入れ P41](#))

－本体から音がする

→水タンクから水が流れ落ちるとき、空気の抜ける「ポコポコ音」がすることがあります

異常ではありません。

→ポンプが定期的に水をくみ上げる音がします
異常ではありません。

—トレー付近から音がする

→ポンプに入った空気を抜く音です。空気が抜けると音は止まります
音が鳴り続ける場合は、いったん運転を「切」にして、トレーを入れ直してください。(→[毎日のお手入れ P39](#))

—運転開始直後にカラカラと音がする

→ポンプが安定して水をくみ上げるまで、音がする場合があります
運転を「切」にして稼働を停止させ、再度運転を開始してください。

—空気清浄機から風が少ししか出ない・音が大きい

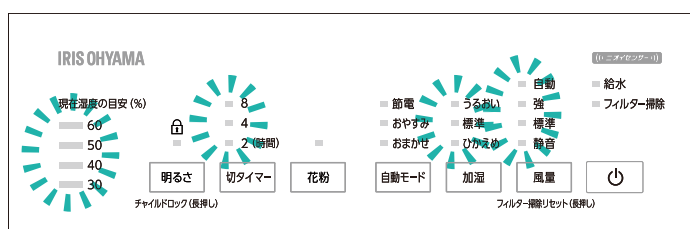
→フィルターが透明ポリ袋に入ったままになっていませんか？
フィルターを透明ポリ袋から出して、正しく取り付けてください。(→[集じん・脱臭フィルターを取り付ける P20](#))

—フィルター交換時期に達する前に、においや煙が取れにくくなった

→空気中の汚れが多い環境で使用していませんか？
早めにフィルターを交換してください。(→[集じん・脱臭フィルターを取り付ける P20](#)、[加湿フィルター交換の目安 P45](#)、[別売品を購入したい P51](#))

—風量・加湿・切タイマー・現在の湿度のランプが点滅している

→内部の故障を検知しています
電源プラグをコンセントから抜き、[アイリスコール P56](#) (☎ [電話をかける](#))へご連絡ください。



—操作パネルのランプが暗い

→明るさ調整ボタンを押して、通常の明るさに切り替えてください
(→[ランプの明るさを調整する P33](#))

—給水ランプが消灯しない

→水位フロートが確実に取り付けられていますか？

水位フロートを確実に取り付けてください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または[アイリスコール P56](#)( [電話をかける](#))へお問い合わせください。



ご自分で分解・修理・改造しないでください。

関連ページ

- ・ [お問い合わせ先 P56](#)

長年ご使用の加湿空気清浄機の点検を！



愛情点検

こんな症状はありませんか

- ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする
- ・ 本体に触れるとピリピリ電気を感じる
- ・ 水もれする
- ・ 運転中に異常な音がする
- ・ 電源コードが傷ついている
- ・ その他の異常や故障がある



ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜き、お買い上げの販売店または[アイリスコール P56](#) (☎ [電話をかける](#)) に点検をご依頼ください。

別売品を購入したい

- ・ 別売品:お買い上げの販売店または[アイリスプラザ](#)でお買い求めください。

アイリスプラザのサイトでは、「キーワードで検索」に型番を入力して検索してください。

全ての商品	▼	キーワードで検索	🔍
-------	---	----------	---

ご注意ください 【悪質な偽装サイトにご注意ください】

■別売品

集じんフィルター(HEPA フィルター)

FLS-AH50A

脱臭フィルター

FLD-AH50A

加湿フィルター(2 枚入り)

FLH-AH50A

保管のしかた

長期間使用しない場合は、本体にポリ袋などのかぶせて、直射日光の当たらない湿気の少ない場所に保管してください。

廃棄について

製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

その他の情報

仕様

定格電力		AC100V
定格周波数		50／60Hz
定格消費電力		70W
適用床面積(空気清浄)		～23 畳
適用床面積 (加湿)	木造和室	8.5 畳
	プレハブ洋室	14 畳
加湿量(強モード時)※1		約 500mL／h
連続加湿時間(強モード時)※2		約 7 時間
タンク容量		約 3.5L
寸法		幅 390×奥行 260×高さ 648mm
質量(水を含まず)		約 10.7kg
電源コード長		約 1.8m

※1 室温 20℃、湿度 30%の条件下での値です。室内の温度や湿度によって、加湿量は異なります。

※2 室温 20℃、湿度 30%の条件下で、連続加湿したときの値です。

※ 適用床面積は保証値ではありません。

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

— 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。
保証書は「かんたん操作ガイド」の裏面にあります。

— 保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。
ただし、一般家庭以外でのご使用など、保証期間内でも無償保証の対象外になる場合があります。
詳しくは「かんたん操作ガイド」の裏面の保証規定を参照ください。

— 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または[修理専用コール P56](#) ( [電話をかける](#))にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

— 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、5 年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

— アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店または[アイリスコール P56](#) ( [電話をかける](#))にお問い合わせください。

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
2. 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
3. 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
4. ご転居や贈答品などで保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、[アイリスコール P56](#) (☎ [電話をかける](#))にお問い合わせください。
5. 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 保証書の提示がない場合
 - ⑦ 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
7. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

お問い合わせ

お問い合わせについてはこちら

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・購入履歴の分かるもの・メモのご用意をお願いします。

製品に関するお問い合わせ

アイリスコール:[0120-311-564](tel:0120-311-564)(通話料無料)

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

修理に関するお問い合わせ

修理専用コール:[0800-170-7070](tel:0800-170-7070)(通話料無料)

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

お客様サポートはこちら



<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

専用パーツはこちら



<https://www.irisohyama.co.jp/support/parts/>

製品の最新情報はこちら

<https://www.irisohyama.co.jp/>